

ご存知ですか？

芳川の里の後援会

「いきいき会」

「芳川の里」は「つくる会」が母体となってできました。

その「つくる会」を引き継いだのが芳川の里後援組織「いきいき会」です。

いきいき会は、お年寄りの皆さんが自分らしく安心して過ごせる居場所作りのお手伝いをしています。

喫茶スペースの運営や花壇の手入れなどの他、講演会を開催したり、イベントのお手伝いをしたり、バザーを開催して財政的支援を行ったりしています。



地域には、高齢者の介護・生活に関する様々な困難に直面している方々が大勢おられます。

芳川の里がそういった福祉の助けが必要な地域の方々と共に歩んでいくためには後援会「いきいき会」の役割が非常に重要です。

皆さまにも、是非いきいき会に加わっていただき、一緒に活動していただけたら嬉しく思います。



職員インタビュー

今回から始まった「職員インタビュー」第1回は施設長インタビューとなりました。

なぜ介護の仕事を選んだのですか？

この業界に入る前は広告代理店でサラリーマンをやっていたんだけど、お金中心の世界に疲れちゃって…。他の世界が無いかかなと思って、ヘルパー二級を取ったのが始まりかな。

「芳川の里」を知ったきっかけは何ですか？

静岡市の施設へ面接に行く時、時間があつたから福祉人材バンクに行つて、その職員さんが紹介してくれたのがきっかけ。

入社の決め手となったポイントや出来事はありますか？

施設の中を見た時に病院や施設っぽくないなって思つて。また、当時の施設長の介護への熱い思いを聞いてここに決めました。家が近かつたこともポイントでした。

現在の仕事内容を教えてください。

施設全体の管理運営ですね。簡単に言うと、現場で働いている職員さんの働きやすい環境を整える事と、問題を未然に解決したり、問題が起こった場合適切に解決する事。他には対外的な事、他施設との協力連携、行政とのパイプ役などです。

施設長、お忙しい中、大変興味深いお話を有難うございました。



特別養護老人ホーム芳川の里
地域密着型介護老人福祉施設居いしほらの里

施設長 小杉山 敬(45) O型 カエ座